鷽

鳥の風諸事きんばらに能似たり同類也、巣をなす物也、總身きんばらより色うすき歟、鳥おもく囀なくあしき物なり、諸事毛いろきんばらにまぎらわしく似たる物也、

〔飼鳥必用中〕碧鳥

此鳥頭は淺黄にて背も淺黄、首より裾はかわらけ色羽也、鳥の樣子十姉妹に同じ、尤粒餌鳥にて、爪の延びたる鳥也、澤山相渡候はゞ、日本にて子を可取に、未子を取たると云事を不聞、是も親鳥若くさへあらば、隨分能出來そうな鳥と被思候也、

〔下學集上氣形〕鷽音學、日本囀鳥、

〔運歩色葉集鳥名〕鷽

〔書言字考節用集五氣形〕鷽　囀同鳥

〔本朝食鑑六林禽〕鷽訓宇曾

釋名　鷽音預、鶯鳴之名也、古來借用爲此名乎、

集解、狀肥大於鶯、頭純黑兩頰至頸深紅、嘴短肥而黑、背胸腹及翮灰青帶微赤、羽尾黑、其聲圓滑而短、鳴時隨聲兩脚互擧、如彈琴搖手、故俚俗稱鷽彈琴、或以形麗聲艶曰宇曾姫、雄曰照鷽、此亦美彩之稱、常呼晴、雌領下淡黑、常鳴呼雨、故曰雨鷽、山林處處有之、官家畜籠而弄之、其味不佳、

〔食物和歌本草四〕肥鳥

うそは温つねに食せよ身を肥す胸ふさがるに是を用る　うそはよく氣のみじかきに藥也虚勞にも吉目を清くする

〔喚子鳥下〕粒餌小鳥の分　何にても水を入る

うそ鳥　ゑがひ　ゑのごま　すりゑ五分ゑよし

大きさすゞめにばいせり、かしらくろく尾羽くろし、目の下にくれなゐの色あり、胸はらうすく